

更なる休校 ～元気ですか？～

黄色学年の皆さん、元気に過ごしていますか？適度な運動はできていますか？あなたたちと会えなくなって寂しい毎日が続いています。3年生が始まってから2日会っただけで休校になってしまい、やっと学校が再開されると思っていたのに、さらに1ヶ月近く休校が延期となってしまいました。先生たちもショックを受けています。なんとか早くこの状況が終息してくれないかと願っています。それと同時にみんなの学習面や体調についても心配しています。保護者の方たちも自分のこと以上にあなたたちのことを心配されていると思います。自分で努力するべきことを継続するよう心がけてください。



📎課題はできていますか？📎

「まだまだ登校まで時間があるから」「今日も結局できなかったな」「明日頑張ればいいか」等々、いろいろなつぶやきが聞こえてきそうですが、課題は進んでいますか？拘束される時間がほとんどなくなり、自分で生活のリズムを作っていくのは、誰もが難しいことです。そんな中で自粛生活をしているのですから、みんなは大変な中で過ごしているのです。自分を甘やかしてしまったり、それが原因で自己嫌悪に陥ったり……。それは大人も子どもも同じです。しんどくなったり辛くなったりすることもあると思いますが、適度に体を動かして気分転換をしながら、もう少し頑張りましょう。先が見えない中で、それぞれが踏ん張っています。



あなたがやれる最善を尽くしたなら、心配したって事態は良くなる。私もいろいろなことを心配するが、ダムからあふれる水までは心配しない。

ウォルト・ディズニー

悪い時が過ぎれば、よい時は必ず来る。おしなべて、事を成す人は、必ず時の来るのを待つ。あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。だが何もせずに待つ事は僥倖を待つに等しい。静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力を蓄えている。たくわえられた力がなければ、時が来ても事は成就しないであろう。

松下幸之助

※僥倖(ぎょうこう)：思いがけない幸い。
偶然に得る幸運。

普段できないことを 机の上の整理(勉強しやすい環境に)・掃除・草引き etc.

この機会をチャンスと捉えて普段できないことにチャレンジしてはいかがでしょうか。例えば実技ができない教科の実習はどうでしょう。体育の自主トレーニングを行っている人は多いと思いますが、夕食を作る、マスクを作る等、家族からも喜ばれるものを作ってみては？また、読書の時間もいっぱいとれるかもしれませんね。新聞をとってれば、気になる記事の収集もできます。あなたたちにはなじみが薄いかもしれませんが、スクラップという作業も面白いかもしれません。ほかにもアイデアがあったら友達にも教えてあげてください。